奇跡のリンゴの本とDVDを見て、絶対不可能を可能にした木村さんは本当に凄いと思います。しかし、なぜ絶対不可能といわれてきた事をやろうとしたのか？私は、そういわれてきた事には手をつけないと思います。なぜなら、それは非効率だからです。私はすぐに結果がでないと諦めてしまう事があり、コツコツと続ける事が苦手です。ですので木村さんが仰っていた「効率よりも大切なもの」この言葉がすごく胸に刺さりました。それは

木村さんのお弟子さんである佐々木さんにも教えている事でした。何百本もあるリンゴの木に酢をかけるのに、木村さんは全て手作業でかけます。もちろん機械でかけてしまった方が早くて効率が良いです。しかし、機械を使う事で自分のためにはなるが、リンゴのためにはなりません。効率の良さを求める時もあるが、それよりも大切なところを見極める事が大切だと気づかされました。しかし、それは案外難しいと思います。また、それは愛

情を持っていないとできないのかなと感じました。木村さんのように、愛情を持っていなければ何年も結果がでないのに研究を重ね続けることはできないと思います。その諦めない姿にとても感動しました。

木村さんにとってプロフェッショナルとは「技術も心も一緒に伴った人」。どんなに技術が上手くても、それに対する信念や愛情がないと本物には出会えないのかなと考えさせられました。私は今まで、何をやるにもとり

あえずこれでいいだろうとこなしてきました。技術面ではいいかもしれないが愛情はこもっていなかったと思います。木村さんは、リンゴをまるで自分の子どものように、家族のように話しかけて、草を刈るにもただ伸びてきたから刈るのではなく季節を教えるために刈ったりとりンゴのために考え尽くされている事がすごいなと思いました。虫や病気についても全て独学で、農薬の代わりに酢をかけるという事も、何通りもの モノを試して出した

答えです。

「目は農薬であり肥料」と木村さんは仰っていました。それは色んな視点から観察して気づく事なのかなと感じました。毎日毎日同じところを観察しても意味がありません。色んな視点から見る事で様々な気づきに繋がります。それはリンゴの木だけでなく、日々生活している中でも関係します。

コツコツとやり続ける事や信念をもって取り組む事は、自分自身との戦いです。どれだ

け締めという甘えに負けないようにできるかが勝負のカギだと思いますので、今回学んだ事を忘れずに日々生活してまいります。